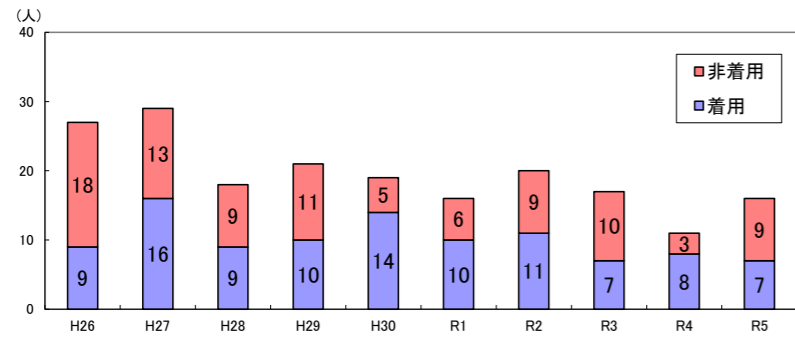


自動車乗車中死者のシートベルト着用状況の推移 (10年間)

※ミニカー・特殊車を除く。着用不明は非着用を含む。



令和5年中の自動車乗車中死者 16人

着用 7人

非着用 9人

着用率 43.8%

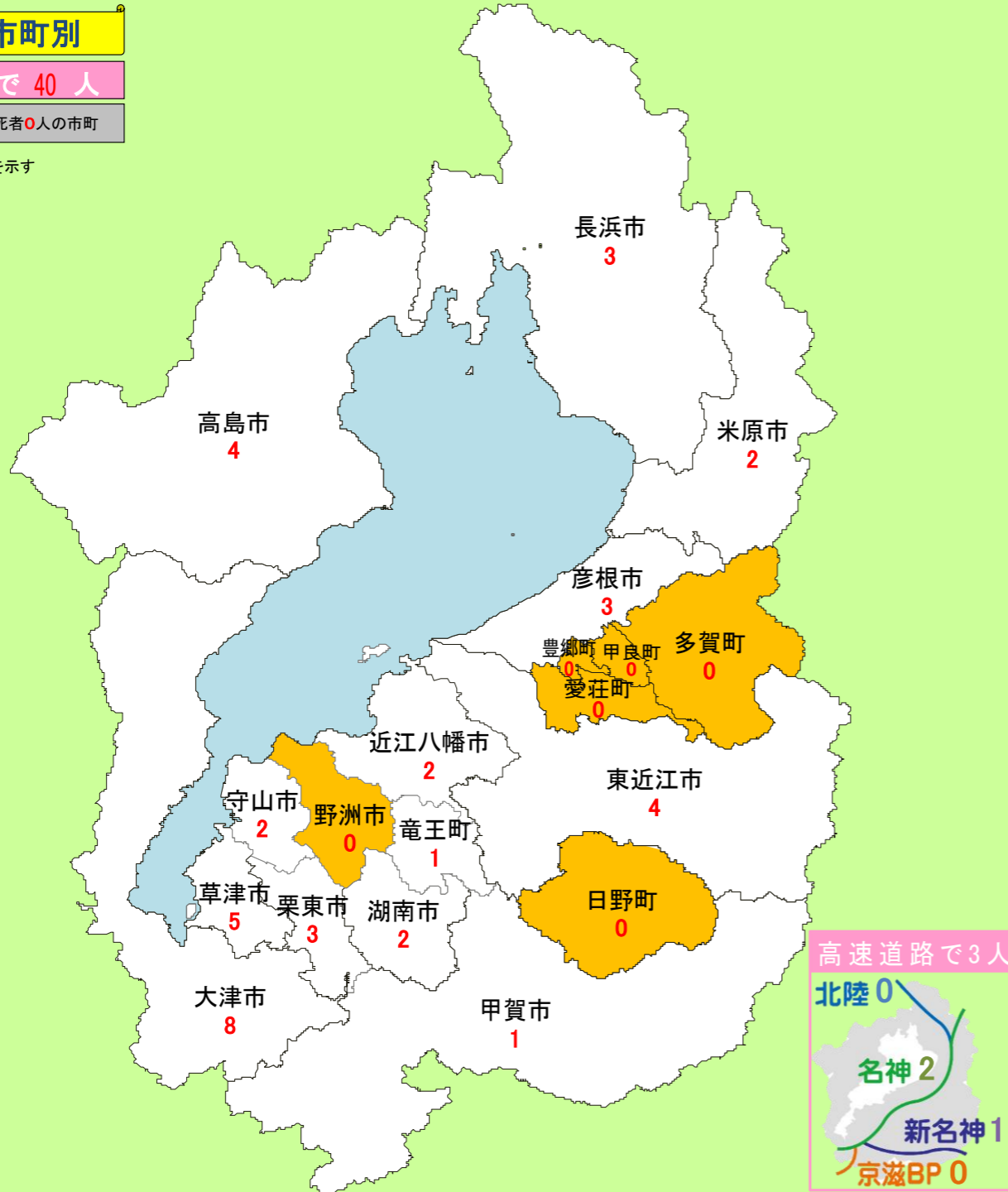
・自動車乗車中死者のシートベルト着用率は前年と比べて減少した。
 ・非着用者9人の内5人(55.6%)がシートベルトを着用していれば助かった可能性がある。

発生市町別

13市町で 40人

は死者0人の市町

※数字は死者数を示す



高速道路で3人

北陸 0

名神 2

新名神 1

京滋BP 0

死者の県内外別

県内者 36人

(83.7%)

県外者 7人

(16.3%)

令和5年中の交通事故

交通事故発生状況

発生件数 2,767 件

(前年対比 -95件 -3.3%)

死者数 43 人

(前年対比 +5人 +13.2%)

負傷者数 3,375 人

(前年対比 -224人 -6.2%)

1日平均の事故

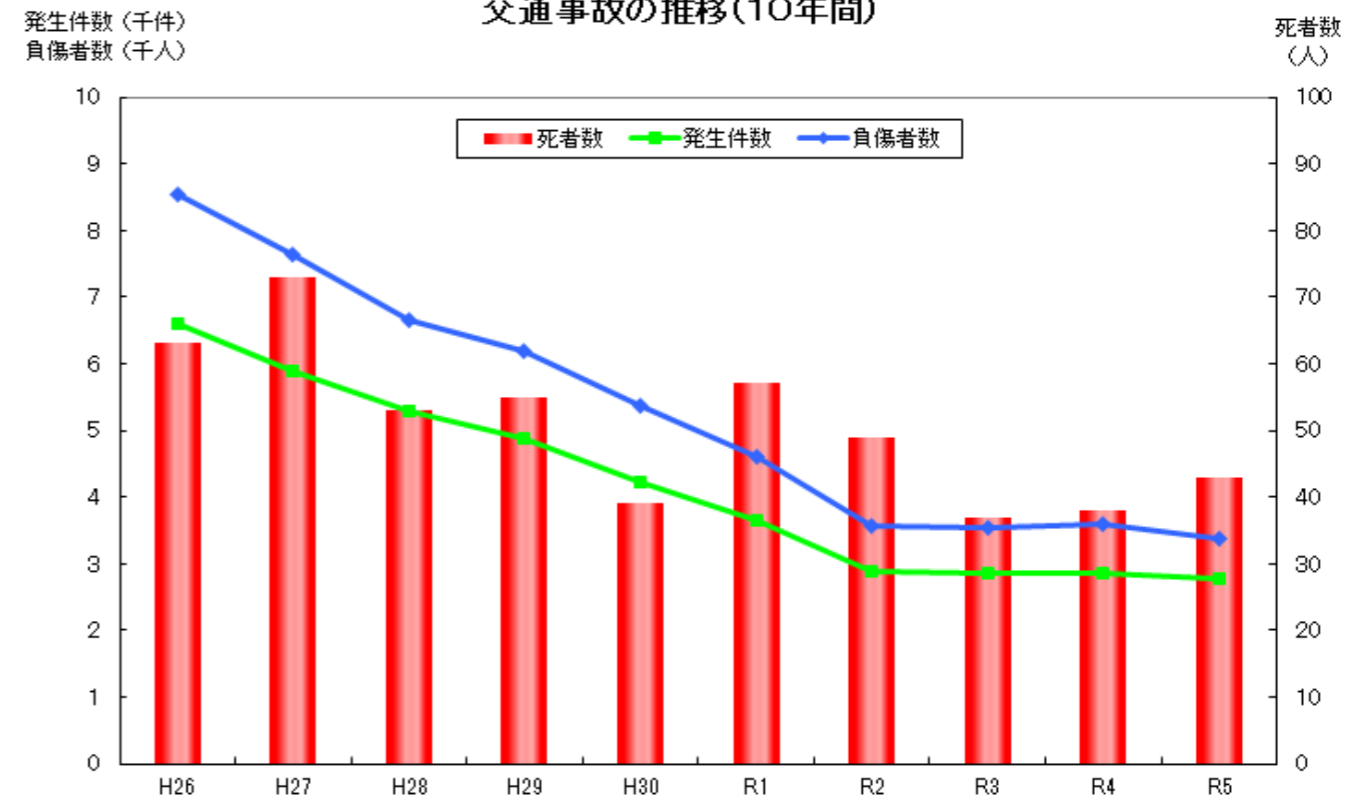
発生件数 7.6件

死者数 0.1人

負傷者数 9.2人

発生件数、傷者数は前年に比べ減少するも、死者数が大きく増加

交通事故の推移(10年間)



区分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
発生件数	6,598	5,879	5,294	4,876	4,212	3,647	2,893	2,850	2,862	2,767
死者数	63	73	53	55	39	57	49	37	38	43
負傷者数	8,545	7,625	6,651	6,178	5,361	4,592	3,555	3,530	3,599	3,375

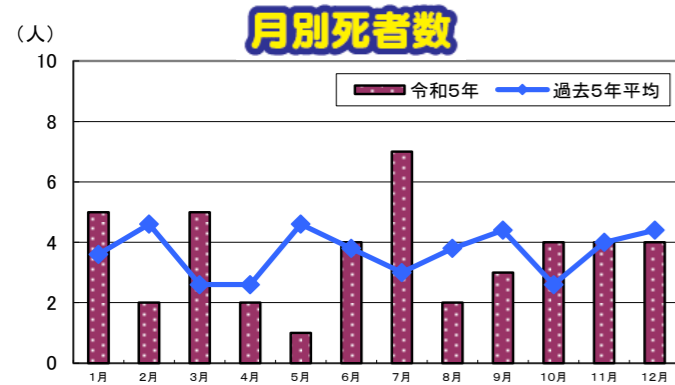
滋賀県警察本部

令和6年度
滋賀県交通安全スローガン

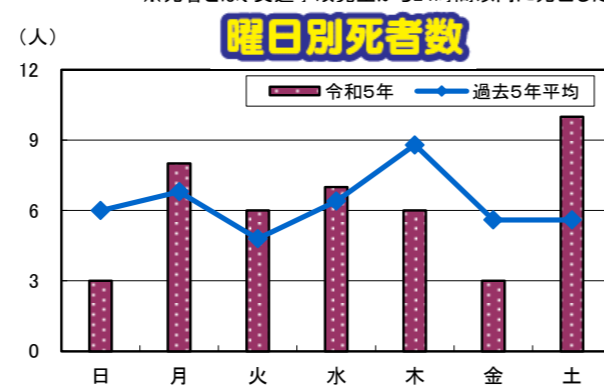
思いやり 乗せて走ろう 滋賀の道

死亡事故の分析 ～発生 43 件、死者 43 人～

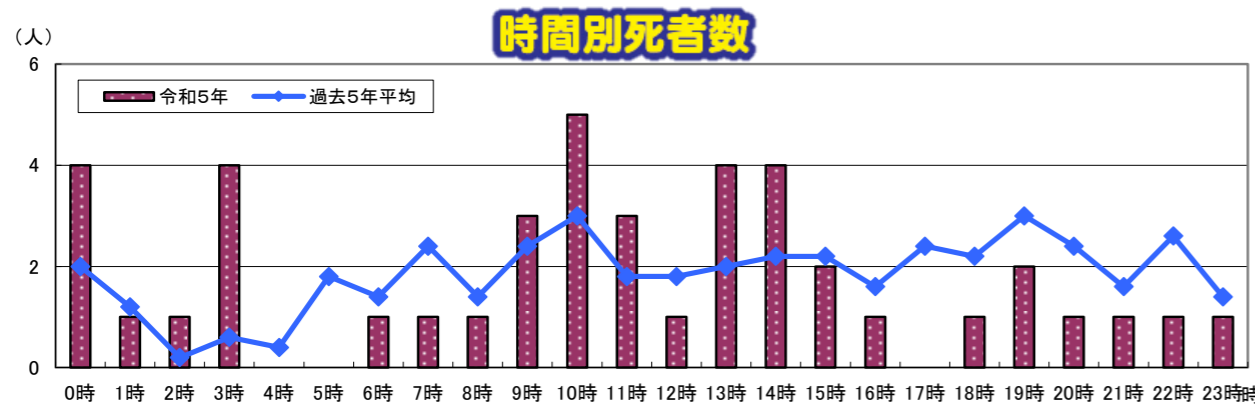
※死者とは、交通事故発生から24時間以内に死亡した人をいう。



7月の死者数が7人で最も多かった。

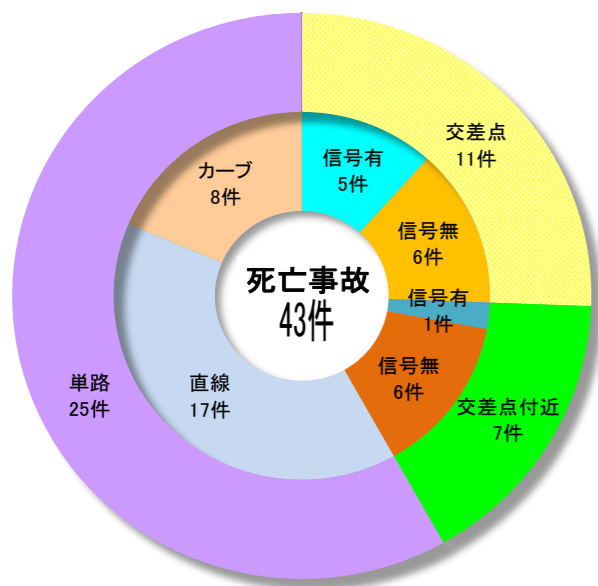


土曜日の死者数が10人で最も多かった。



午前10時台の死者数が5人で最も多く、次いで0時・3時・13時・14時台が各4人であった。

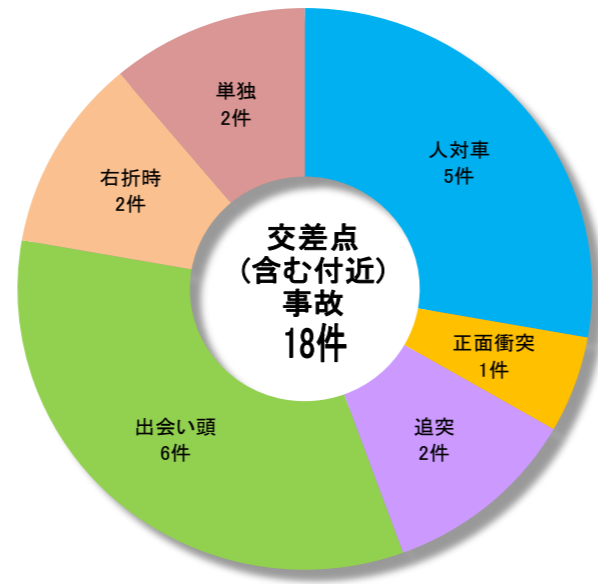
道路形状別件数



単路(直線、カーブ)が6割を占める。

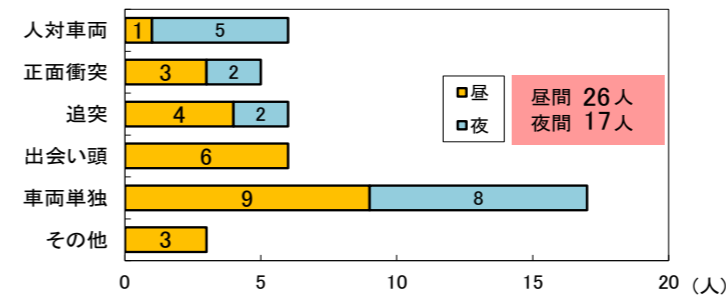
交差点(含む付近)事故の類型別件数

※ 交差点付近とは、交差点からおおむね30メートル以内をいう。



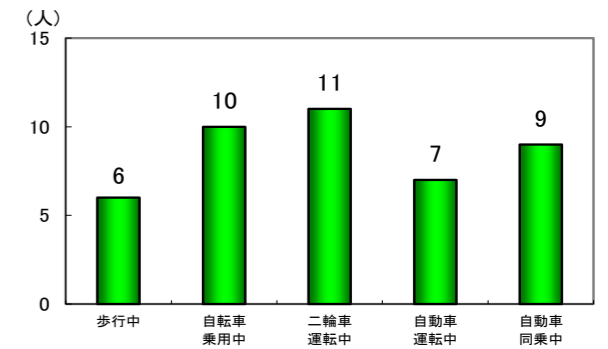
人対車と出会い頭で6割以上を占める。

昼夜別事故類型別死者数



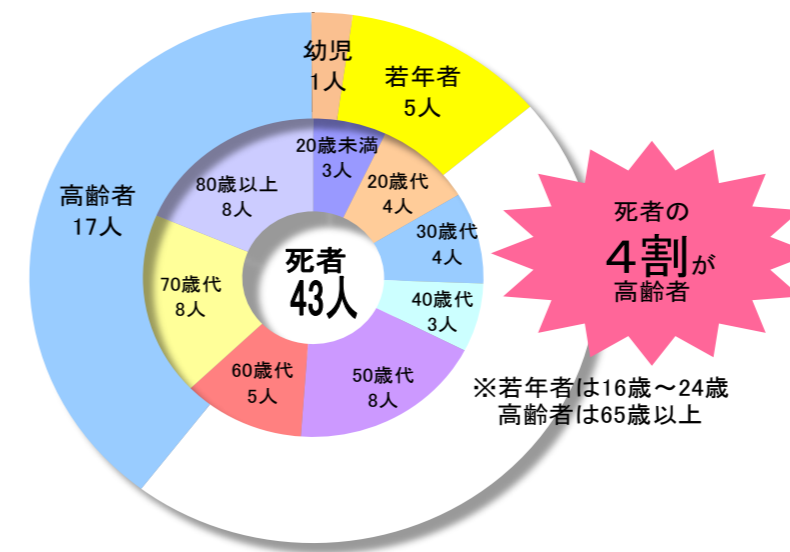
昼間の死者数が夜間を9人上回った。車両単独による死者が17人と最も多かった。

状態別死者数

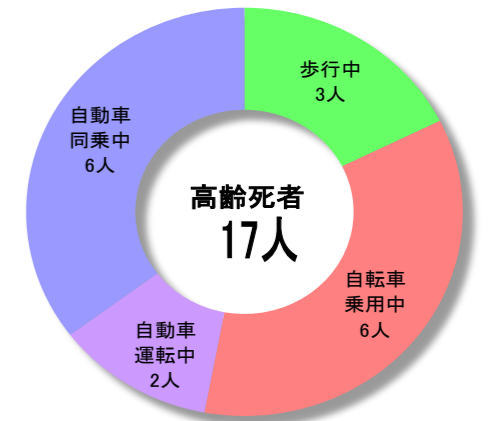


二輪車運転中の死者が11人と最も多かった。

年齢層別死者数

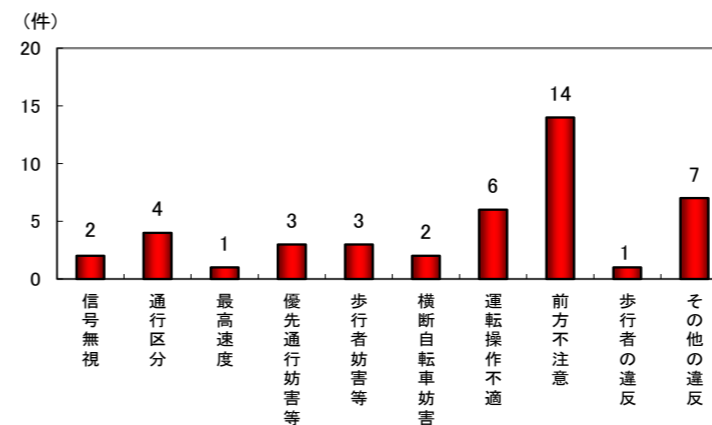


高齢死者の状態別



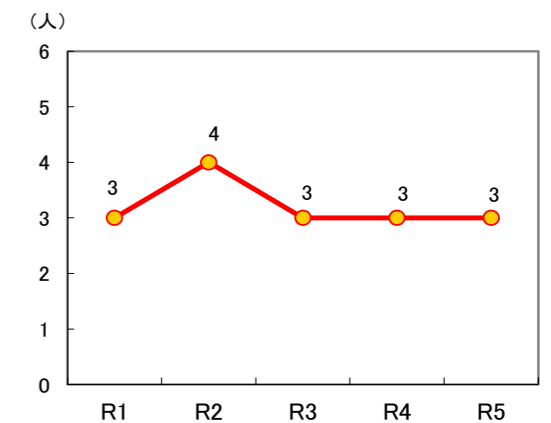
自転車乗用中、自動車同乗中の死者数が各6人と最も多かった。

第1当事者の違反別件数



前方不注意による死亡事故が最も多い。

飲酒運転による事故の死者数の推移



横ばいの傾向にある。